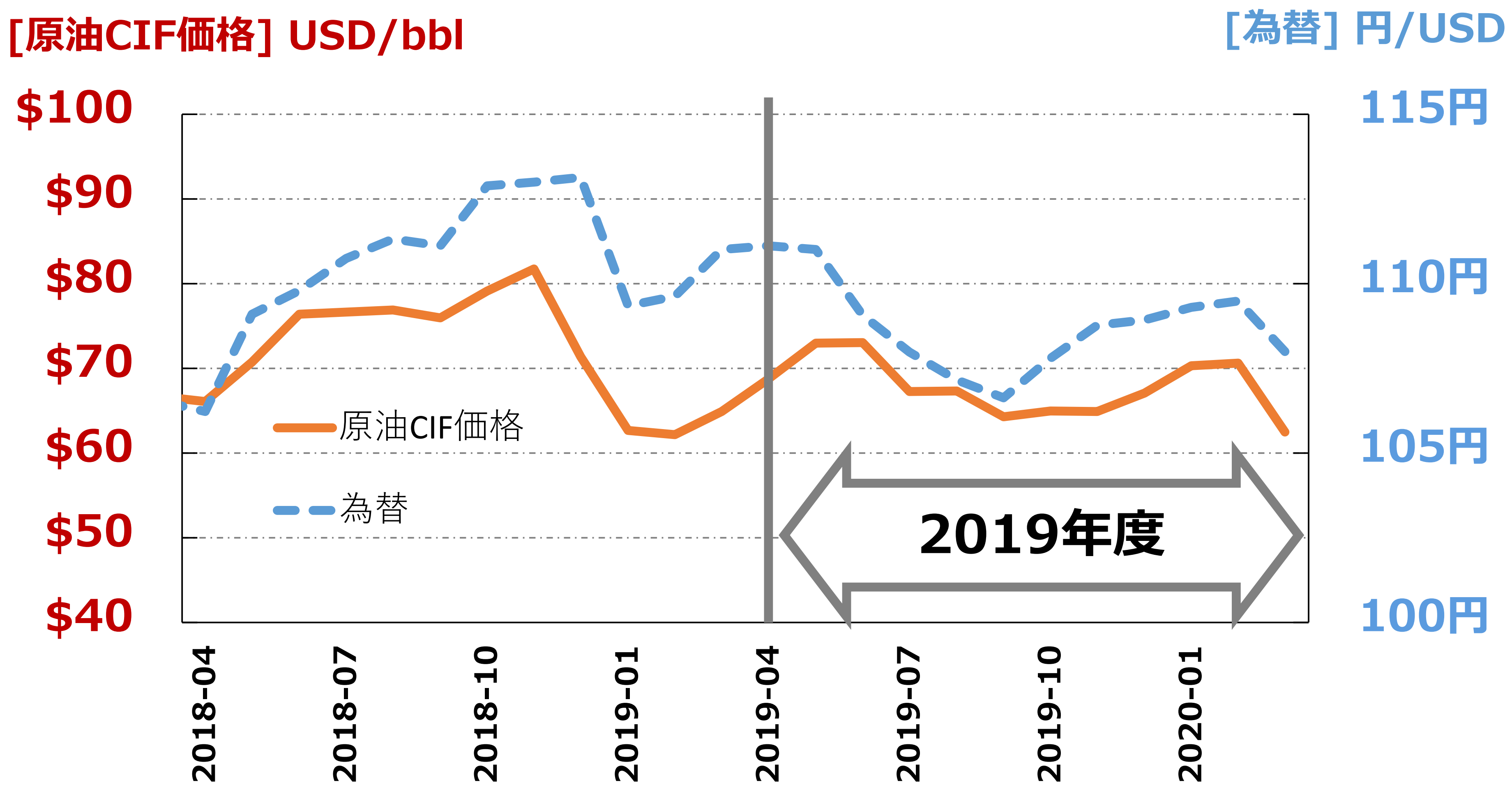
【報告事項】

1. 第50期〔自 2019年4月1日
至 2020年3月31日〕事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

2. 第50期〔自 2019年4月1日
至 2020年3月31日〕　計算書類報告の件

事業の経過及び成果

当年度の事業環境　原油CIF価格と為替の動き



E&P（Exploration & Production）事業

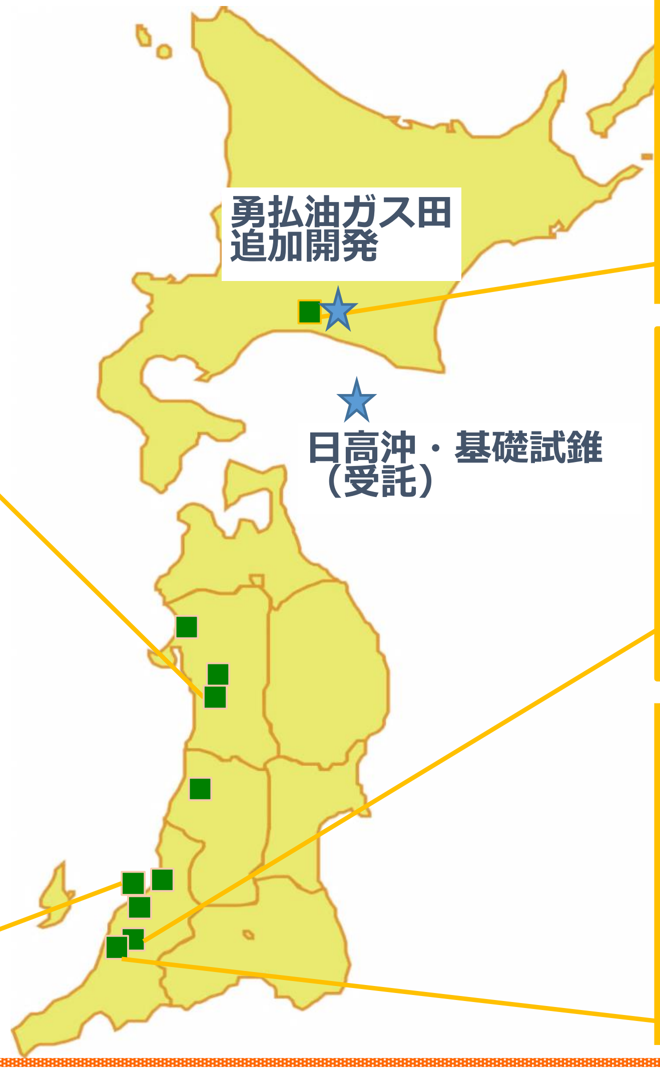
石油・天然ガスの探鉱・開発・生産

【E&P事業】国内油ガス田

10カ所の油ガス田で生産中

由利原油ガス田

岩船沖油ガス田



JAPEX

【E&P事業】北米　カナダ　オイルサンドプロジェクト

ハンギングストーン鉱区 中央処理施設全景

【E&P事業】中東　イラク　ガラフプロジェクト

ガラフ油田で原油を生産する油井

【E&P事業】欧州　英領北海　シーガル海上鉱区

評価井における産出テストの様子 (2015年11月)

【インフラ・ユーティリティ事業】 天然ガスサプライチェーン

相馬LNG基地

新潟・仙台間ガスパイプライン

LNGローリー

【インフラ・ユーティリティ事業】相馬港天然ガス火力発電事業

▲左～奥：当社相馬LNG基地
右　　：福島ガス発電(株)　福島天然ガス発電所

相馬港4号埠頭　鳥瞰撮影（2020年4月）

▲発電所1号機外観

【新規事業】

■次世代技術開発

苫小牧CCS実証プロジェクト

メタンハイドレート

海底鉱物資源調査技術

■新たなビジネスモデルの構築

✓苫小牧港LNGバンカリング検討会実施

■新規事業シーズの発掘

✓使用済み食用油を原料とした次世代航空機燃料バリューチェーン構築に向けた検討開始

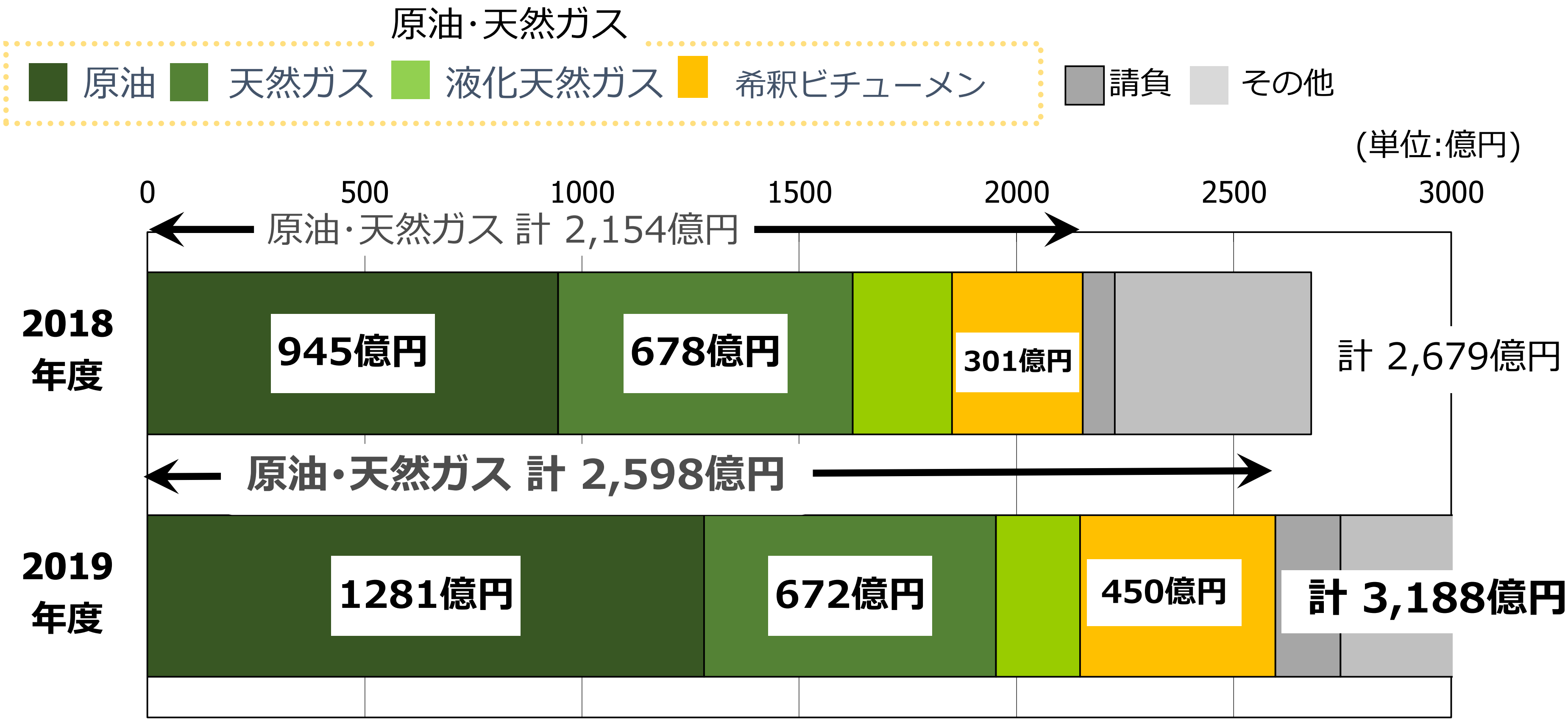
▲LNG外航船からLNG内航船へLNGを直接移送する様子

JAPEX

2019年度の業績 ①

売上高 3,188億円（前年度比508億円<18%>増）

うち原油・天然ガス　2,598億円（前年度比 443億円<20%>増）



2019年度の業績 ②

[億円]	2018年度	2019年度	比較増減	
売　上　高	2,679	**3,188**	+508	+18%
営業利益	23	**142**	+119	+517%
経常利益	125	**326**	+201	+160%
親会社株主に帰属する当期純利益	147	**268**	+120	+81%

【営業利益】
希釈ビチューメンの販売収支改善　など

【経常利益】
為替差損益の変動 など

連結貸借対照表　2020年3月31日現在

[億円]	2018年度	2019年度	比較増減	
資　産	6,552	**6,271**	▲281	▲4%
流動資産	1,660	2,130	+469	+28%
有形固定資産	3,091	2,940	▲150	▲4%
無形固定資産	73	68	▲5	▲7%
投資その他の資産	1,726	1,132	▲594	▲34%
負　債	2,051	**1,869**	▲181	▲8%
純　資　産	4,501	**4,401**	▲99	▲2%
うち利益剰余金	3,313	3,509	+196	+5%
負債・純資産	6,552	**6,271**	▲281	▲4%

【流動資産】
現預金および売掛金の増加
【有形固定資産】
減価償却などによる減少

【投資その他の資産】
投資有価証券の時価評価による減少

【負債】
投資有価証券の時価下落による繰延税金負債の減少など

【純資産】
その他有価証券評価差額金の減少
利益剰余金の増加

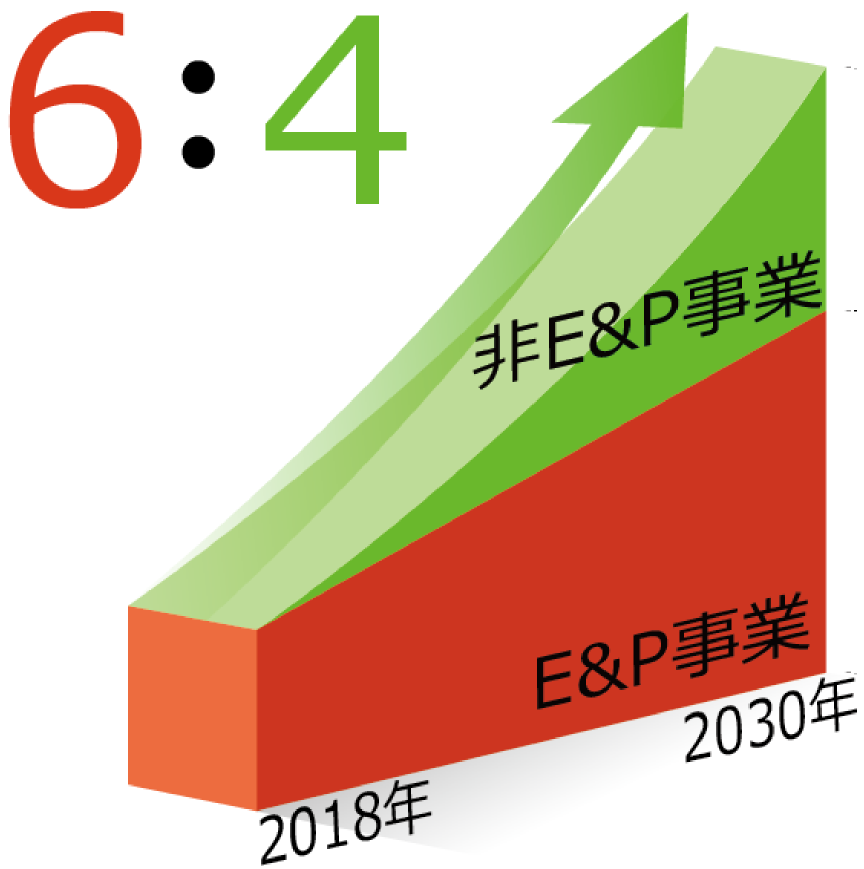
対処すべき課題
（長期ビジョン、中期事業計画の概要）

長期ビジョン・中期事業計画①

■長期ビジョン2030

「石油・天然ガスE&Pと
その供給事業基盤を活かした
総合エネルギー企業への成長」

2030年の全社利益構成比率



長期ビジョン・中期事業計画②

■中期事業計画2018-2022

2022年度の目標：ROE≧5%への改善

各事業の計画・目標

E&P事業	I/U（インフラ・ユーティリティ）事業	新規事業
長期目標 RRR＞１の維持	2022年目標 国内天然ガス取扱量 160万t（LNG換算） 電力販売量 28億kWh	「新たなビジネスモデル」「新規事業シーズ」による環境配慮型事業創出

JAPEX

対処すべき課題への取組み
（中期事業計画の進捗と目標）

JAPEX

中期事業計画の進捗状況

事業	2019年度	2020年度
E&P事業	**【中長期的な国内埋蔵量追加】** 北海道日高沖海上基礎試錐終了 **【海外プロジェクト推進】** 英領北海シーガル鉱区開発	**【国内生産量の維持・増加】** 勇払追加開発による原油生産開始 **【海外プロジェクト推進・収益性向上】** イラクガラフ油田の追加開発
I/U事業	**【国内天然ガス安定供給】** **【再生可能エネルギー開発】** 専従組織の設置	**【原油価格の影響を受けにくい事業基盤】** 福島天然ガス発電所営業運転開始
新規事業	**【次世代技術開発・実用化】** 苫小牧CCS実証試験CO_2圧入累計30万t達成 **【新たなビジネスモデル構築】** 苫小牧港LNGバンカリング検討会実施 **【新規事業シーズ発掘】** 次世代航空機燃料事業化検討開始	**【左記活動の継続】** 継続的な次世代技術開発・実用化の追求、新たなビジネスモデル構築への活動、新規事業シーズの発掘

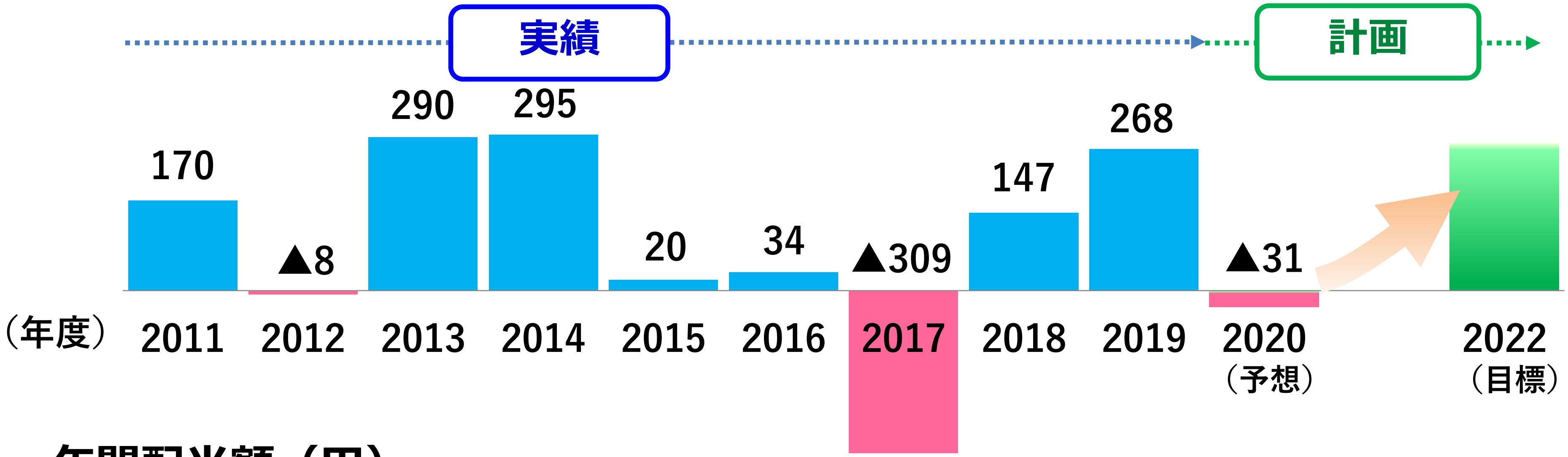
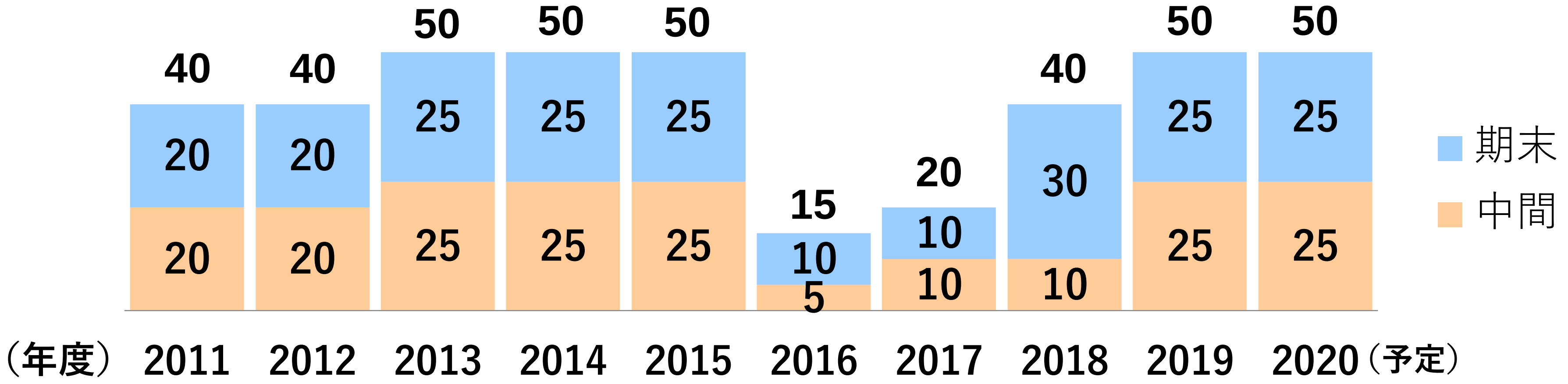
ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組み状況

	2019年度	2020年度
環境 E	**【TCFD※提言にもとづく対応】** ✓ 気候変動を含む事業のリスクの取締役会への年次報告を開始	**【TCFD※提言にもとづく対応】** ✓気候変動を含む事業のリスクマネジメント体制の整備
事業 S	**【エネルギーの安定供給】** ✓DX推進担当者配置 **【魅力ある職場づくり】** ✓当社初の女性部長任命	**【魅力ある職場づくり】** ✓人材開発・教育体系見直し
ガバナンス G	**【経営体制等の強化】** ✓社外取締役増員：2→3名 ✓意思決定機関変更：常務会→経営会議	**【経営体制等の強化】** ✓社外取締役増員：3→4名 ✓取締役任期変更：2→1年 **【リスクマネジメント】** ✓新型コロナウイルス感染拡大状況下の事業継続対応

※気候変動関連財務情報開示タスクフォース

株主還元

親会社株主に帰属する当期純損益の推移と見通し（億円）



年間配当額（円）